

グローバル産学官連携拠点採択に対する会頭コメント

この度、文部科学省と経済産業省の「グローバル産学官連携拠点」に京都が採択されことを大変喜ばしく思う。

長い歴史の中で高い文化と学術を培ってきた京都は、けいはんな学研都市や京大・桂キャンパスなどの新たな拠点形成に取り組むとともに、「京都環境ナノクラスター事業」や「京都環境モデル都市」などへの取り組みを積極的に推進している。そのような京都のポテンシャルが高く評価され、採択されたものと受け止めている。

経済界としては、京都産学官連携機構を活用して「環境・エネルギー」と「ライフサイエンス・ウエルネス」における具体的テーマの抽出を行うことにより、大企業のみならず独自の強みを有する中堅・中小・ベンチャー企業の参画を働きかけていきたい。そして、京都における「知の創造と活用の好循環」をさらに発展させ、「科学技術創造立国・日本」の一翼を担い、グローバル社会に貢献していきたい。

平成21年6月12日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄